

問1 大津宮で政治を行った天智天皇が作成した、日本で最初の全国的な戸籍を何という？

1. 庚午年籍                      2. 班田収授法                      3. 戸籍法                      4. 計帳

問2 天智天皇の死後、大友皇子と大海人皇子の間で跡継ぎをめぐる起こった大規模な内乱を何という？

1. 壬申の乱                      2. 元寇                      3. 承久の乱                      4. 白村江の戦い

問3 壬申の乱に勝利して即位し、天皇中心の国づくりを進めた天皇は誰？

1. 天智天皇                      2. 聖武天皇                      3. 天武天皇                      4. 桓武天皇

問4 大津宮への遷都などを通じて基礎が築かれた、天皇中心の法に基づく国家を何という？

1. 封建国家                      2. 中央集権国家                      3. 律令国家                      4. 古代国家

問5 飛鳥時代、仏教の採用をめぐる蘇我氏と激しく対立した有力豪族を何という？

1. 大伴氏                      2. 蘇我氏                      3. 中臣氏                      4. 物部氏

問6 奈良県の法隆寺などが代表する、現在世界で最も古い建物群のことを何という？

1. 石造建築                      2. レンガ造建築                      3. コンクリート建築                      4. 木造建築

問7 聖徳太子や蘇我氏を中心となって栄えた、日本で最初の本格的な仏教に基づく文化を何という？

1. 国風文化                      2. 天平文化                      3. 鎌倉文化                      4. 仏教文化

問8 聖徳太子が、家柄に関係なく才能や功績によって役人を登用するために定めた制度を何という？

1. 冠位十二階                      2. 御成敗式目                      3. 十七条の憲法                      4. 大宝律令

問9 十七条憲法において、政治の指針として取り入れられた、インドで生まれ朝鮮半島を経由して伝わった宗教は何？

1. 道教                      2. 仏教                      3. 儒教                      4. 神道

問10 聖徳太子が制定した憲法において、仏教の尊重とともに取り入れられた教えを何という？

1. 道教                      2. 仏教                      3. 神道                      4. 儒教

問11 663年に、百濟復興を目指した日本軍が唐・新羅の連合軍に大敗した戦いを何という？

1. 白村江の戦い                      2. 壬申の乱                      3. 承久の乱                      4. 関ヶ原の戦い

問12 蘇我氏を倒したあとの大化の改新で、土地や人民をすべて天皇のものとする政治のしくみを何という？

1. 班田収授法                      2. 口分田                      3. 公地公民                      4. 租庸調

問13 672年に天智天皇の死後、後継をめぐる起きた内乱を何という？

1. 応仁の乱                      2. 承久の乱                      3. 元弘の乱                      4. 壬申の乱

問14 中大兄皇子とともに飛鳥時代に権力を握り、天皇中心の政治の実現を阻んでいた豪族を何という？

1. 藤原氏                      2. 源氏                      3. 平氏                      4. 蘇我氏

問15 壬申の乱で敗れた大友皇子の父であり、大津宮へ遷都した天皇は誰？

1. 持統天皇                      2. 聖武天皇                      3. 天武天皇                      4. 天智天皇

問16 飛鳥時代に摂政として政治を行い、法隆寺などを建立した人物は誰？

1. 蘇我馬子                      2. 藤原不比等                      3. 中臣鎌足                      4. 聖徳太子

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 庚午年籍	670年（庚午の年）に作成された「庚午年籍」は、日本で初めて全国規模で作成された戸籍です。これにより、政府は誰がどこに住んでいるかを把握し、兵役や租税を課するための基礎資料としました。この正確な戸籍の作成が、後の班田収授法の実施へとつながる重要な足がかりとなりました。
問2	答え 1 壬申の乱	672年に始まったこの争いは「壬申の乱」と呼ばれ、地方の豪族や兵を味方につけた大海人皇子が勝利しました。勝利した大海人皇子は天武天皇として即位し、これまでの豪族中心の政治から、天皇に権力が集中する政治へと大きく転換しました。
問3	答え 3 天武天皇	天武天皇は、即位後に天皇中心の政治体制を整えました。皇親政治を行いながら、律令制度の導入に向けた整備や、歴史書の編纂を命じるなど、国家としての骨格作りを行いました。
問4	答え 3 律令国家	律令国家とは、国の決まりである「律」と「令」に基づいて、天皇が全国を統治する国家の形です。都に政治の中心を置き、官僚が整備され、国民は公地公民（土地と人民は天皇のもの）という原則のもとで戸籍に登録されました。これにより、日本は法治主義的な性格を強めた国へと生まれ変わりました。
問5	答え 4 物部氏	物部氏は日本古来の信仰を守る立場から、蘇我氏が推し進める仏教の導入に強く反対しました。両者は政治的、宗教的に激しく対立しましたが、最終的に蘇我氏が勝利したことで、日本における仏教の公認が決定しました。
問6	答え 4 木造建築	法隆寺の西院伽藍は、現存する世界最古の木造建築物群として有名です。木材の特性を生かした緻密な接合技術や、金堂・五重塔に見られる建築様式は、当時の高度な土木・建築技術を今に伝えています。
問7	答え 4 仏教文化	仏教文化は、聖徳太子や蘇我氏ら有力豪族によって深く信仰され、寺院の建立が活発になりました。中国の南北朝時代や朝鮮半島の文化の影響を強く受けており、大陸風の優美な建築や彫刻が特徴です。法隆寺などの寺院が代表的です。
問8	答え 1 冠位十二階	冠位十二階は、役人に能力や功績に応じて12段階の位を与え、それぞれ色分けされた冠を身につけさせる制度です。これにより、家柄にとらわれない公正な人事を行い、天皇を中心とした国家運営を支える官僚組織を目指しました。
問9	答え 2 仏教	仏教は神道と共存しながら急速に広まり、特に聖徳太子がその普及に努めました。法隆寺などの寺院が建立され、仏像や彫刻などの仏教芸術も発展しました。十七条憲法でも、仏教を篤く敬うことが説かれています。
問10	答え 4 儒教	儒教は、孔子を祖とする中国の思想で、礼儀や孝行、そして君臣関係といった秩序を何よりも重んじます。聖徳太子が制定した十七条の憲法では、仏教を尊ぶ姿勢とともに、この儒教的な上下関係の秩序を取り入れることで、役人たちが天皇に仕えるべき規範を示しました。
問11	答え 1 白村江の戦い	663年、日本は百済の遺臣とともに大軍を派遣しましたが、白村江で唐と新羅の強大な連合軍に大敗を喫しました。この敗戦は、当時の日本にとって国際的な大きな転換点となりました。
問12	答え 3 公地公民	「公地公民」とは、それまで豪族たちが私有していた土地や人民を、すべて国家（天皇）の管理下に置く制度です。これにより、豪族の力を抑えて天皇による一元的な支配体制の基盤を作ろうとしました。
問13	答え 4 壬申の乱	672年に勃発したこの内乱は「壬申の乱」と呼ばれます。地方の豪族を味方につけた大海人皇子側が勝利し、大友皇子は敗北して自害しました。これは、当時の有力な皇族同士による最大規模の内乱となりました。
問14	答え 4 蘇我氏	蘇我氏は飛鳥文化の中心的な存在でもあり、聖徳太子と協力して国の基盤を固めました。しかし、独裁的な権力を振るったことで他の豪族や天皇家との対立を深め、最終的には不満を持つ中大兄皇子や中臣鎌足らによって倒されることとなりました。
問15	答え 4 天智天皇	天智天皇は、唐や新羅の勢力に備えるために都を近江大津宮へ移し、強力な国家建設を推進しました。特に、日本で初めて全国的な戸籍である「庚午年籍」を作成したことは、国が国民を把握し、税を確実に徴収するための非常に重要な転換点となりました。
問16	答え 4 聖徳太子	聖徳太子は推古天皇の摂政として、冠位十二階や十七条の憲法を制定し、能力重視の政治や天皇を中心とする秩序を作ろうとしました。また、仏教を深く崇敬し、法隆寺などを建立して文化の発展を支えました。



## 答え合わせ・解説

問1	答え 4 儒教	儒教は、孔子を祖とする中国の思想で、礼儀や孝行、そして君臣関係といった秩序を何よりも重んじます。聖徳太子が制定した十七条の憲法では、仏教を尊ぶ姿勢とともに、この儒教的な上下関係の秩序を取り入れることで、役人たちが天皇に仕えるべき規範を示しました。
問2	答え 4 木造建築	法隆寺の西院伽藍は、現存する世界最古の木造建築物群として有名です。木材の特性を生かした緻密な接合技術や、金堂・五重塔に見られる建築様式は、当時の高度な土木・建築技術を今に伝えています。
問3	答え 4 遣隋使	遣隋使は、小野妹子らによって何度か派遣されました。単なる交流だけでなく、隋の進んだ政治体制や文化、技術を取り入れることが大きな目的でした。当時の国交においては中国が中心となる朝貢的な関係が一般的でしたが、聖徳太子は「日出づる処の天子」という表現を用いることで、日本が対等な独立国であることを示そうとしました。
問4	答え 2 冠位十二階	603年に制定されました。役人に位を表す冠を与え、その色は徳・仁・礼・信・義・智の儒教的な道徳に基づく階層を示しました。これにより、有力豪族だけでなく、能力のある人物を政治に参加させる道が開かれました。
問5	答え 3 大宰府	大宰府は、九州地方（特に博多周辺）を管轄する行政機関です。軍事防衛だけでなく、外国との外交交渉を行う窓口としての役割も持ちました。周囲には「水城」という土木施設を築き、守りを固めたとされています。
問6	答え 1 律令制度	「律」は今の刑法、「令」は今の行政法にあたるもので、これらを組み合わせて国を治める体制を律令制度といいます。この制度により、中央政府が地方を支配し、すべての国民を戸籍で管理して税や労役を課するという中央集権的な国家体制が築かれました。
問7	答え 4 壬申の乱	672年に勃発したこの内乱は「壬申の乱」と呼ばれます。地方の豪族を味方につけた大海人皇子側が勝利し、大友皇子は敗北して自害しました。これは、当時の有力な皇族同士による最大規模の内乱となりました。
問8	答え 4 大海人皇子	大海人皇子は672年の壬申の乱において、地方豪族の協力を得て大友皇子を倒しました。この勝利により、古代日本において天皇の権威を確立する重要な役割を果たしました。
問9	答え 3 律令国家	律令国家とは、国の決まりである「律」と「令」に基づいて、天皇が全国を統治する国家の形です。都に政治の中心を置き、官僚が整備され、国民は公地公民（土地と人民は天皇のもの）という原則のもとで戸籍に登録されました。これにより、日本は法治主義的な性格を強めた国へと生まれ変わりました。
問10	答え 1 壬申の乱	672年に始まったこの争いは「壬申の乱」と呼ばれ、地方の豪族や兵を味方につけた大海人皇子が勝利しました。勝利した大海人皇子は天武天皇として即位し、これまでの豪族中心の政治から、天皇に権力が集中する政治へと大きく転換しました。
問11	答え 4 法隆寺	法隆寺は、聖徳太子によって建立された日本最古級の寺院です。現存する金堂や五重塔などの建物は、世界で最も古い木造建築物群としてユネスコの世界文化遺産にも登録されています。当時の建築技術や仏教美術の粋を伝えており、飛鳥時代の高度な国際交流の様子を現代に伝えています。
問12	答え 1 白村江の戦い	663年、日本は百済の遺臣とともに大軍を派遣しましたが、白村江で唐と新羅の強大な連合軍に大敗を喫しました。この敗戦は、当時の日本にとって国際的な大きな転換点となりました。
問13	答え 1 渡来人	渡来人は、漢字や儒教、仏教などの学問のほか、機織り、金属加工、土木技術、須恵器の製作法など、高度な知識や技術を日本にもたらしました。彼らの技術は、大和政権の国づくりや、寺院の建設、都市計画に不可欠なものとなりました。
問14	答え 1 左右対称	釈迦三尊像に見られる「左右対称」の形は、当時の大陸の様式を忠実に受け継いだ証拠です。中心の仏像の両側に脇侍を配し、均整のとれた安定感のある姿を作ることで、仏の尊厳や穏やかさを表現しました。
問15	答え 3 聖徳太子	聖徳太子は、推古天皇の摂政として政治を主導しました。官位十二階を定めて能力に応じた登用を促したほか、604年には十七条憲法を制定して役人の守るべき心得を示しました。これにより天皇への服従や、仏教・儒教の尊重を求めています。



## 答え合わせ・解説

問1	答え 4 法隆寺	法隆寺は、聖徳太子によって建立された日本最古級の寺院です。現存する金堂や五重塔などの建物は、世界で最も古い木造建築物群としてユネスコの世界文化遺産にも登録されています。当時の建築技術や仏教美術の粋を伝えており、飛鳥時代の高度な国際交流の様子を現代に伝えています。
問2	答え 4 白村江の戦い	日本は百済を助けるために軍を派遣しましたが、白村江（はくすきのえ）という場所で唐・新羅軍に完敗しました。この敗戦により、日本は朝鮮半島での影響力を失い、次に唐が日本へ攻めてくることを恐れるようになりました。
問3	答え 4 仏教文化	仏教文化は、聖徳太子や蘇我氏ら有力豪族によって深く信仰され、寺院の建立が活発になりました。中国の南北朝時代や朝鮮半島の文化の影響を強く受けており、大陸風の優美な建築や彫刻が特徴です。法隆寺などの寺院が代表的です。
問4	答え 2 仏教	仏教は神道と共存しながら急速に広まり、特に聖徳太子がその普及に努めました。法隆寺などの寺院が建立され、仏像や彫刻などの仏教芸術も発展しました。十七条憲法でも、仏教を篤く敬うことが説かれています。
問5	答え 1 防人	政府は国防を最優先の課題とし、九州の北部に「防人」を配置して警備を強化しました。また、九州各地や瀬戸内海沿岸には水城や山城を築き、万が一の侵攻に備える軍事施設を整えました。これらの防人は、東国などから選ばれた農民が任期を終えて交代で任務にあたるものでした。
問6	答え 3 小野妹子	小野妹子は、聖徳太子の命令を受けて遣隋使として隋の都へ派遣されました。当時の隋の皇帝である煬帝に、天皇の親書（「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す」で始まるもの）を手渡し、対等な関係を要求しました。彼はこの命がけの外交を通じ、大陸の優れた文化や法律制度を日本へ持ち帰りました。
問7	答え 3 十七条の憲法	604年に制定されました。役人が守るべき心構えを全17条で記しており、その第2条には「三宝（仏・法・僧）を敬うこと」が説かれています。儒教的な考え方や仏教の教えに基づき、和を大切にすることなどを強調しました。
問8	答え 2 木造建築物	法隆寺の金堂や五重塔などの西院伽藍は、現存する世界最古の木造建築物です。当時の優れた技術を示しており、エンタシス（柱の中央が膨らむ技法）などの特徴が見られます。
問9	答え 3 大宰府	大宰府は、九州地方（特に博多周辺）を管轄する行政機関です。軍事防衛だけでなく、外国との外交交渉を行う窓口としての役割も持ちました。周囲には「水城」という土木施設を築き、守りを固めたとされています。
問10	答え 2 中央集権	飛鳥時代から大化の改新を経て目指されたのが「中央集権」です。地方の豪族から土地や民を公のものとする「公地公民」を掲げ、中央政府が全国を一括して管理するシステムを構築しました。
問11	答え 2 遣隋使	607年に小野妹子らが派遣されました。彼らは隋の皇帝に国書を届けて対等な外交関係を求めるとともに、仏教の教義や政治の仕組みを学び帰国しました。これにより日本には大陸の新しい文化が急速に流入しました。
問12	答え 2 冠位十二階	603年に制定されました。役人に位を表す冠を与え、その色は徳・仁・礼・信・義・智の儒教的な道徳に基づく階層を示しました。これにより、有力豪族だけでなく、能力のある人物を政治に参加させる道が開かれました。
問13	答え 4 大化の改新	645年、中大兄皇子や中臣鎌足らは、強大な権力を持っていた蘇我入鹿を倒し、天皇中心の国づくりを目指す「大化の改新」を開始しました。彼らは「公地公民」を掲げ、土地や民を豪族の手から国家の管理下に移しました。また、税制の整備や中央集権的な統治を目指す制度の導入を行いました。
問14	答え 4 物部氏	物部氏は日本古来の信仰を守る立場から、蘇我氏が推進する仏教の導入に強く反対しました。両者は政治的、宗教的に激しく対立しましたが、最終的に蘇我氏が勝利したことで、日本における仏教の公認が決定しました。
問15	答え 3 律令制度	律令制度とは、刑罰を定めた「律」と、行政や税の決まりである「令」からなる法体系のことです。飛鳥時代の聖徳太子の時代から準備が始まり、大陸の制度を参考にしながら、天皇を頂点とした官僚的な政治システムを構築しました。これにより全国の土地や人々を直接管理することが可能となりました。
問16	答え 4 蘇我氏	蘇我氏は飛鳥文化の中心的な存在でもあり、聖徳太子と協力して国の基盤を固めました。しかし、独裁的な権力を振るったことで他の豪族や天皇家との対立を深め、最終的には不満を持つ中大兄皇子や中臣鎌足らによって倒されることとなりました。

問1 奈良県の法隆寺などが該当する、飛鳥時代に日本で発展した現存する最古のものは何？

1. 鉄筋コンクリート建築物      2. 木造建築物      3. レンガ造建築物      4. 石造建築物

問2 蘇我氏を倒したあとの大化の改新で、土地や人民をすべて天皇のものとする政治のしくみを何という？

1. 班田収授法      2. 口分田      3. 公地公民      4. 租庸調

問3 白村江の戦いのあと、九州の防衛や外交の拠点として置かれた役所を何という？

1. 平城京      2. 平泉      3. 大宰府      4. 平安京

問4 聖徳太子が、中国の隋に対して対等な外交関係を求めて送った使節を何という？

1. 日宋貿易      2. 遣明使      3. 遣唐使      4. 遣隋使

問5 聖徳太子が役人の心得として、仏教の「仏・法・僧」を敬うことを記した文書を何という？

1. 大宝律令      2. 冠位十二階      3. 十七条の憲法      4. 大化改新の詔

問6 聖徳太子が制定した憲法において、仏教の尊重とともに取り入れられた教えを何という？

1. 道教      2. 仏教      3. 神道      4. 儒教

問7 豪族中心の政治から脱却し、天皇が権力を集中させる国家体制を何という？

1. 氏姓制度      2. 中央集権      3. 封建制度      4. 地方分権

問8 聖徳太子によって建立され、世界最古の木造建築物群として飛鳥文化を象徴する寺院を何という？

1. 東大寺      2. 中尊寺      3. 四天王寺      4. 法隆寺

問9 壬申の乱で大友皇子と皇位を争った、天智天皇の弟は誰？

1. 中大兄皇子      2. 大友皇子      3. 聖徳太子      4. 大海人皇子

問10 推古天皇が才能や功績によって役人を登用するために定めた制度を何という？

1. 大宝律令      2. 冠位十二階      3. 班田収授法      4. 十七条の憲法

問11 大津宮への遷都などを通じて基礎が築かれた、天皇中心の法に基づく国家を何という？

1. 封建国家      2. 中央集権国家      3. 律令国家      4. 古代国家

問12 663年に、百濟復興を目指した日本軍が唐・新羅の連合軍に大敗した戦いを何という？

1. 白村江の戦い      2. 壬申の乱      3. 承久の乱      4. 関ヶ原の戦い

問13 聖徳太子や蘇我氏が中心となって栄えた、日本で最初の本格的な仏教に基づく文化を何という？

1. 国風文化      2. 天平文化      3. 鎌倉文化      4. 仏教文化

問14 法隆寺が位置しており、飛鳥文化の中心地でもあった現在の都道府県はどこ？

1. 京都府      2. 大阪府      3. 奈良県      4. 滋賀県

問15 十七条憲法において、政治の指針として取り入れられた、インドで生まれ朝鮮半島を経由して伝わった宗教は何？

1. 道教      2. 仏教      3. 儒教      4. 神道

問16 聖徳太子が、家柄にこだわらず才能や功績のある人物を役人に登用するために定めた制度を何という？

1. 班田収授法      2. 大化の改新      3. 冠位十二階      4. 大宝律令

## 答え合わせ・解説

問1	答え 2 木造建築物	法隆寺の金堂や五重塔などの西院伽藍は、現存する世界最古の木造建築物です。当時の優れた技術を示しており、エンタシス（柱の中央が膨らむ技法）などの特徴が見られます。
問2	答え 3 公地公民	「公地公民」とは、それまで豪族たちが私有していた土地や人民を、すべて国家（天皇）の管理下に置く制度です。これにより、豪族の力を抑えて天皇による一元的な支配体制の基盤を作ろうとしました。
問3	答え 3 大宰府	大宰府は、九州地方（特に博多周辺）を管轄する行政機関です。軍事防衛だけでなく、外国との外交交渉を行う窓口としての役割も持ちました。周囲には「水城」という土木施設を築き、守りを固めたとされています。
問4	答え 4 遣隋使	遣隋使は、小野妹子らによって何度か派遣されました。単なる交流だけでなく、隋の進んだ政治体制や文化、技術を取り入れることが大きな目的でした。当時の国交においては中国が中心となる朝貢的な関係が一般的でしたが、聖徳太子は「日出づる処の天子」という表現を用いることで、日本が対等な独立国であることを示そうとしました。
問5	答え 3 十七条の憲法	604年に制定されました。役人が守るべき心構えを全17条で記しており、その第2条には「三宝（仏・法・僧）を敬うこと」が説かれています。儒教的な考え方や仏教の教えに基づき、和を大切にすることなどを強調しました。
問6	答え 4 儒教	儒教は、孔子を祖とする中国の思想で、礼儀や孝行、そして君臣関係といった秩序を何よりも重んじます。聖徳太子が制定した十七条の憲法では、仏教を尊ぶ姿勢とともに、この儒教的な上下関係の秩序を取り入れることで、役人たちが天皇に仕えるべき規範を示しました。
問7	答え 2 中央集権	飛鳥時代から大化の改新を経て目指されたのが「中央集権」です。地方の豪族から土地や民を公のものとする「公地公民」を掲げ、中央政府が全国を一括して管理するシステムを構築しました。
問8	答え 4 法隆寺	法隆寺は、聖徳太子によって建立された日本最古級の寺院です。現存する金堂や五重塔などの建物は、世界で最も古い木造建築物群としてユネスコの世界文化遺産にも登録されています。当時の建築技術や仏教美術の粋を伝えており、飛鳥時代の高度な国際交流の様子を現代に伝えています。
問9	答え 4 大海人皇子	大海人皇子は672年の壬申の乱において、地方豪族の協力を得て大友皇子を倒しました。この勝利により、古代日本において天皇の権威を確立する重要な役割を果たしました。
問10	答え 2 冠位十二階	603年に制定されました。役人に位を表す冠を与え、その色は徳・仁・礼・信・義・智の儒教的な道徳に基づく階層を示しました。これにより、有力豪族だけでなく、能力のある人物を政治に参加させる道が開かれました。
問11	答え 3 律令国家	律令国家とは、国の決まりである「律」と「令」に基づいて、天皇が全国を統治する国家の形です。都に政治の中心を置き、官僚が整備され、国民は公地公民（土地と人民は天皇のもの）という原則のもとで戸籍に登録されました。これにより、日本は法治主義的な性格を強めた国へと生まれ変わりました。
問12	答え 1 白村江の戦い	663年、日本は百済の遺臣とともに大軍を派遣しましたが、白村江で唐と新羅の強大な連合軍に大敗を喫しました。この敗戦は、当時の日本にとって国際的な大きな転換点となりました。
問13	答え 4 仏教文化	仏教文化は、聖徳太子や蘇我氏ら有力豪族によって深く信仰され、寺院の建立が活発になりました。中国の南北朝時代や朝鮮半島の文化の影響を強く受けており、大陸風の優美な建築や彫刻が特徴です。法隆寺などの寺院が代表的です。
問14	答え 3 奈良県	奈良県には法隆寺のほか、飛鳥寺や四天王寺などの初期仏教寺院が建てられ、大陸文化の影響を受けた美術が発展しました。この地域の独自の風土から、日本の古代文化が形作られていきました。
問15	答え 2 仏教	仏教は神道と共存しながら急速に広まり、特に聖徳太子がその普及に努めました。法隆寺などの寺院が建立され、仏像や彫刻などの仏教芸術も発展しました。十七条憲法でも、仏教を篤く敬うことが説かれています。
問16	答え 3 冠位十二階	603年に制定された冠位十二階は、役人に大徳から少信まで12のランクを設け、色分けされた冠を授けることで地位を表す制度です。家柄ではなく実力で地位が決まる仕組みを作ることで、朝廷への忠誠心を高め、有能な人材を活用することを目指しました。

問1 7世紀前半に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化を何という？

1. 飛鳥文化                      2. 天平文化                      3. 平安文化                      4. 国風文化

問2 聖徳太子によって建立され、世界最古の木造建築物群として飛鳥文化を象徴する寺院を何という？

1. 東大寺                      2. 中尊寺                      3. 四天王寺                      4. 法隆寺

問3 聖徳太子が、中国の隋に対して対等な外交関係を求めて送った使節を何という？

1. 日宋貿易                      2. 遣明使                      3. 遣唐使                      4. 遣隋使

問4 奈良県の法隆寺などが該当する、飛鳥時代に日本で発展した現存する最古のものは何？

1. 鉄筋コンクリート建築物                      2. 木造建築物                      3. レンガ造建築物                      4. 石造建築物

問5 飛鳥時代に摂政として政治を行い、法隆寺などを建立した人物は誰？

1. 蘇我馬子                      2. 藤原不比等                      3. 中臣鎌足                      4. 聖徳太子

問6 聖徳太子が、中国の隋から進んだ政治制度や文化を学ばせるために派遣した人物は誰？

1. 阿倍仲麻呂                      2. 吉備真備                      3. 小野妹子                      4. 菅原道真

問7 大津宮への遷都などを通じて基礎が築かれた、天皇中心の法に基づく国家を何という？

1. 封建国家                      2. 中央集権国家                      3. 律令国家                      4. 古代国家

問8 天智天皇が全国的な統治を強化するために初めて作成させた、国民の名前や本籍を記録した台帳を何という？

1. 戸籍                      2. 公地公民                      3. 租庸調                      4. 班田収授法

問9 聖徳太子が、家柄に関係なく才能や功績によって役人を登用するために定めた制度を何という？

1. 冠位十二階                      2. 御成敗式目                      3. 十七条の憲法                      4. 大宝律令

問10 中大兄皇子らが中心となり、豪族が支配する政治を改め、天皇中心の国家を目指した政治改革を何という？

1. 応仁の乱                      2. 壬申の乱                      3. 承久の乱                      4. 大化の改新

問11 十七条憲法において、政治の指針として取り入れられた、インドで生まれ朝鮮半島を経由して伝わった宗教は何？

1. 道教                      2. 仏教                      3. 儒教                      4. 神道

問12 唐や新羅からの侵攻に備えて、九州北部の防衛のために配置された兵士を何という？

1. 防人                      2. 租庸調                      3. 庚午年籍                      4. 班田収授法

問13 白村江の戦いのあと、九州の防衛や外交の拠点として置かれた役所を何という？

1. 平城京                      2. 平泉                      3. 大宰府                      4. 平安京

問14 推古天皇のもとで摂政として登用され、聖徳太子とともに政治を行った有力豪族は誰？

1. 聖徳太子                      2. 蘇我馬子                      3. 物部守屋                      4. 中臣鎌足

問15 釈迦三尊像などに見られる、左右の形が同じになっている特徴を何という？

1. 左右対称                      2. 和様                      3. 大仏様                      4. 禅宗様

問16 天皇に権力を集中させ、全国を統一的に支配する国づくりを目指す体制を何という？

1. 連合国家                      2. 封建国家                      3. 都市国家                      4. 中央集権国家

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 飛鳥文化	「飛鳥文化」は法隆寺の釈迦三尊像などに代表される、仏教中心の文化です。建築、彫刻、絵画などにおいて大陸の様式が積極的に取り入れられ、高度な技術が伝えられました。
問2	答え 4 法隆寺	法隆寺は、聖徳太子によって建立された日本最古級の寺院です。現存する金堂や五重塔などの建物は、世界で最も古い木造建築物群としてユネスコの世界文化遺産にも登録されています。当時の建築技術や仏教美術の粋を伝えており、飛鳥時代の高度な国際交流の様子を現代に伝えています。
問3	答え 4 遣隋使	遣隋使は、小野妹子らによって何度か派遣されました。単なる交流だけでなく、隋の進んだ政治体制や文化、技術を取り入れることが大きな目的でした。当時の国交においては中国が中心となる朝貢的な関係が一般的でしたが、聖徳太子は「日出づる処の天子」という表現を用いることで、日本が対等な独立国であることを示そうとしました。
問4	答え 2 木造建築物	法隆寺の金堂や五重塔などの西院伽藍は、現存する世界最古の木造建築物です。当時の優れた技術を示しており、エンタシス（柱の中央が膨らむ技法）などの特徴が見られます。
問5	答え 4 聖徳太子	聖徳太子は推古天皇の摂政として、冠位十二階や十七条の憲法を制定し、能力重視の政治や天皇を中心とする秩序を作ろうとしました。また、仏教を深く崇敬し、法隆寺などを建立して文化の発展を支えました。
問6	答え 3 小野妹子	小野妹子は、聖徳太子の命令を受けて遣隋使として隋の都へ派遣されました。当時の隋の皇帝である煬帝に、天皇の親書（「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す」で始まるもの）を手渡し、対等な関係を要求しました。彼はこの命がけの外交を通じ、大陸の優れた文化や法律制度を日本へ持ち帰りました。
問7	答え 3 律令国家	律令国家とは、国の決まりである「律」と「令」に基づいて、天皇が全国を統治する国家の形です。都に政治の中心を置き、官僚が整備され、国民は公地公民（土地と人民は天皇のもの）という原則のもとで戸籍に登録されました。これにより、日本は法治主義的な性格を強めた国へと生まれ変わりました。
問8	答え 1 戸籍	天智天皇が作成させた戸籍（庚午年籍）は、日本で初めて全国的に行われたものです。これにより、誰がどこに住んでいて、どのくらいの労働力があるのかを国が管理できるようになりました。これにより、徴兵や税の徴収がスムーズに行える体制が整えられました。
問9	答え 1 冠位十二階	冠位十二階は、役人に能力や功績に応じて12段階の位を与え、それぞれ色分けされた冠を身につけさせる制度です。これにより、家柄にとらわれない公正な人事を行い、天皇を中心とした国家運営を支える官僚組織を目指しました。
問10	答え 4 大化の改新	645年、中大兄皇子や中臣鎌足らは、強大な権力を持っていた蘇我入鹿を倒し、天皇中心の国づくりを目指す「大化の改新」を開始しました。彼らは「公地公民」を掲げ、土地や民を豪族の手から国家の管理下に移しました。また、税制の整備や中央集権的な統治を目指す制度の導入を行いました。
問11	答え 2 仏教	仏教は神道と共存しながら急速に広まり、特に聖徳太子がその普及に努めました。法隆寺などの寺院が建立され、仏像や彫刻などの仏教芸術も発展しました。十七条憲法でも、仏教を篤く敬うことが説かれています。
問12	答え 1 防人	政府は国防を最優先の課題とし、九州の北部に「防人」を配置して警備を強化しました。また、九州各地や瀬戸内海沿岸には水城や山城を築き、万が一の侵攻に備える軍事施設を整えました。これらの防人は、東国などから選ばれた農民が任期を終えて交代で任務にあたるものでした。
問13	答え 3 大宰府	大宰府は、九州地方（特に博多周辺）を管轄する行政機関です。軍事防衛だけでなく、外国との外交交渉を行う窓口としての役割も持ちました。周囲には「水城」という土木施設を築き、守りを固めたとされています。
問14	答え 2 蘇我馬子	推古天皇が即位した際、馬子は甥である聖徳太子を摂政として登用し、新しい国づくりを主導しました。仏教の導入を積極的に進め、四天王寺の建立などにも深く関わりました。
問15	答え 1 左右対称	釈迦三尊像に見られる「左右対称」の形は、当時の大陸の様式を忠実に受け継いだ証拠です。中心の仏像の両側に脇侍を配し、均整のとれた安定感のある姿を作ることで、仏の尊厳や穏やかさを表現しました。
問16	答え 4 中央集権国家	中央集権国家とは、天皇や朝廷が中心となって、全国の土地や人民を管理し、法律に基づいて統治を行う体制のことです。冠位十二階や公地公民といった制度は、まさにこの体制を実現するための手段でした。